

2013年5月14日(日曜日)

天候 晴天
風 南東 2
波 0.5m
目的地 甌里港
距離 32.8NM

7時30分 牛深港を出航。

さあ、甌へいくぞー！といった

ものの今日も風に見放され、また

機帆走。甌手前の離れ島が見え

始めたころようやく風が上がり

つかの間のセーリング。

里港が見えてきました。



唯一沖から遠望できる建物が温泉ホテル甌島館。

13時里港入港

停泊場所を探すためまずはフェリー岸壁側へ、観光船ポンツーンは大型漁船と観光船が着岸していたため、観光船側に抱いてもらおうと近づくと岸壁から関係者か？手を振りNOの合図。情報では漁船溜まりに案内してくれるとのことでしたがそれも無く、なんか冷たい雰囲気。

仕方なく、商工会に海上から

電話。一等北側、漁協のある

船溜りを指示され、赤丸に

入港着岸しました。赤線は航

跡、ここは横付けOKとのこと

で停泊することとしまし。

泊地情報

トイレは商工会の裏と甌島館。

温泉は甌島館、スーパー

観光船ポンツーン

フェリー棧橋

レンタルサイクル、バイク

ここは槍付け、水深も浅い



早くついたため自由行動、各自でバラバラに電動自転車、バイクで観光地めぐり。ホテルにはコインランドリー、フェリー待合には食堂もあり快適、これで浮き桟橋があれば申し分ないのですが・・・。



岸壁が高いのでクライミング用のアブミを取り付け。

いやー、念のためと思い持ってきた

のは正解でした。

バイクで見て回ったのですが、

両港とも泊地の条件は悪そうでした。



2013年5月15日(月曜日)

天候 晴天
風 東北東 4
波 1m
目的地 甌 手打ち
距離 21NM

8時30分に里港を出航。

甌にしかない焼酎を買うために酒蔵のある

下甌島手打ち港へ。

13時に下甌島の手打ち港に入港。

フェリーの運航はなくなっていて、岸壁は岸壁用コンクリートブロックが占領、まずはフェリー岸壁に着岸、停泊場所を探しに。それにしても岸壁の高いこと。

歩いて50mくらいで漁協があり、地図には無い浮き棧橋がありました。

漁協の人に聞くと浮き棧橋までに浅いところがあるのでヨットは無理だろうとのことでした。その他、見渡しても停泊場所は無く、そのまま停泊することとしました。



アブリ無しでは上陸できない
ほど高い岸壁。



フェリー岸壁

町は寂れています。小さな店が近くに
あります、観光は武家屋敷と歴史資料館
行っては見たけど……。

焼酎！！ありました酒蔵、吉永酒造
甑州、五郎、亀五郎、試飲OK。甑州、
五郎、亀五郎は島外でも買えるとか。
「ここでしか買えないのがあると、はる
ばる福岡からヨットで来たんですが」
というと、しゃれたブルーの瓶を指差
し「じゃーこれです」。こしきおと姫でした。



焼酎の写真は吉永酒造のPR写真から引用していますが。私たちが買った乙姫は透明なブルーの瓶でラベルも違っていました。航海記など書く気が無かったので、味もラベルも記憶のかなた、写真も無く。ごめんなさい！



停泊地情報

トイレ無し、風呂無し(民宿はあるみたい)、フェリー待合所は閉鎖施錠されていますが外の水道は生きていました。

明日、笠沙恵比寿にある温泉を夢見て焼酎食らい早寝です。

この湾にアンカーを打ってヨットが停泊していたことがあったそうです。



武家屋敷



里

係留	漁協側船溜り	漁協に連絡 岸壁高い 引き波うるさい
水	なし	
陸電	なし	
燃料	なし	
トイレ	2箇所	商工会、甌島館
風呂	甌島館	500円
飲料水	購入可能	近くにスーパー有
食料品	購入可能	
酒	購入可能	
その他		レンタルサイクル 500円、バイク2時間2,000円

手打ち

係留	フェリー跡	岸壁非常に高い 引き波うるさい
水	なし	
陸電	なし	
燃料	なし	
トイレ	遠い	歩いて10分バス待合所
風呂	なし	民宿に泊まればOK
飲料水	購入可能	近くに店有
食料品	購入可能	近くに店有
酒	酒蔵	甌にしかない焼酎有
その他		

2013年5月16日(火曜日)

天候 晴天
風 東北東 4~6
波 1~1.5
目的地 笠沙恵比寿
距離 25NM

6時手打港を出航。
今航海ではじめて100%

セーリングです。快調に飛

ばしていくと、鳥山が！
そして、イルカが姿を現した。

少し離れた所を3匹！

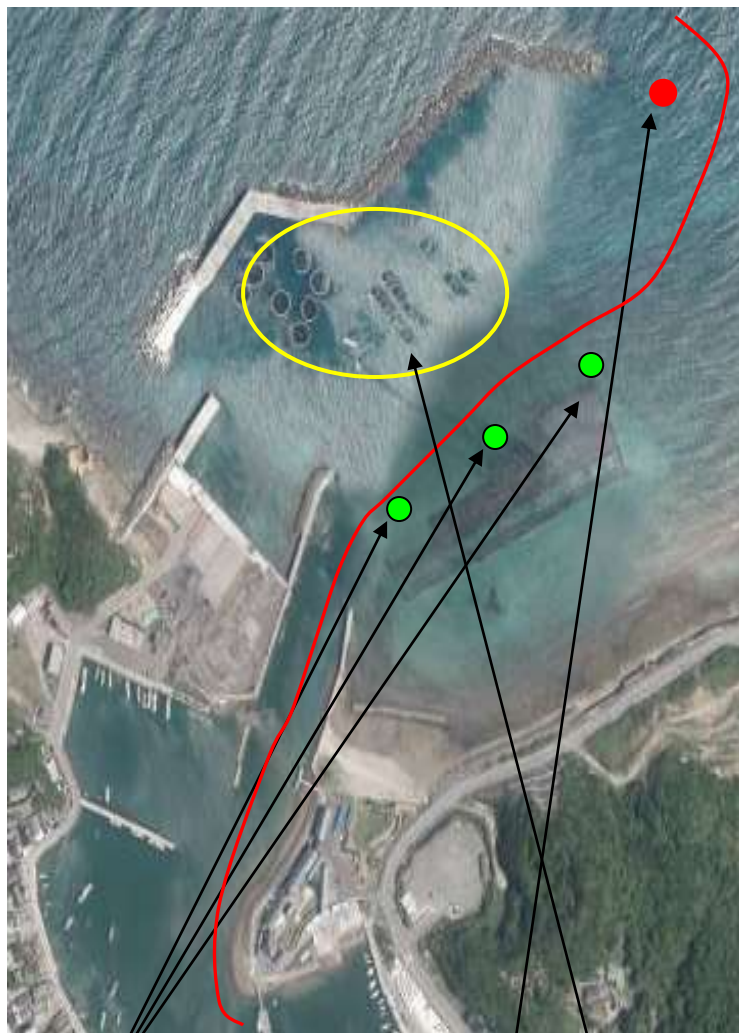
2匹が潜っては斜め前を横切る。

さらに、右舷すぐ横を1匹が！

イヤー愉快、爽快！！でも、

ゆるるヨットの上で動くイルカ

の姿は撮影できませんでした。



12時野間池港に入港準備。 鉄柱色は剥げていて黒っぽい 赤の浮灯標 生簀

※ 浅いので要注意の情報あり、満潮時(10時29分)を意識して入港

赤の浮灯標を右に見て野間池に入港。微速前進よく見ると前方に鉄柱が立標かな？鉄柱の左側に瀬らしき物が透けて見えます。右側には生簀が、鉄柱よりを(10m位)を通り、水深を見ると浅いところで3mでした。夜の入港は鉄柱が灯標でないと危険です。

壱岐の湯元は立標をライトアップしていますが、ここはどうかな？5日間も居たのに夜は飲んだくれて調査不能でした、あしからず。

見えてきました笠沙恵比寿

の浮き棧橋

12時30分着岸。

停泊地情報

ここは1泊1艇2,000円+お風呂

代一人660円が要りますが、風呂

入り放題、水使い放題、ゴミ出し

放題で最高です。



手打ち港からすると天国！

やっぱり浮き棧橋がいいナァ！！水、陸電あります。でも燃料は手で運ばなければなりません。(実際に補給はしてませんが)

海蓮

KANALOA

ここ、海の冒険館は教職員の福利厚生施設みたいでした。平日は閑散としていますが土日は賑っています。近辺にはこれといった観光地也没有せん。

漁協棧橋は平日、定置網その他で
漁船が使っており日曜日以外着岸は難しい。

小さな農協スーパー(徒歩 10 分)

海の冒険館の棧橋利用者等の洗濯場
(上の写真黄色丸 ○)

18 日に大阪から駆けつける仲間待ちです。
でも 18 日から天候が崩れそう、硫黄島へ
の出航はお天気任せ、何日間の逗留になる
か分かりませんがここなら OK、快適です。



散策していると漁協が騒がしい、つられて足を運ぶとなにやらエビ漁の船が入港、それを直接買っている人が集まっているみたいです。無論すぐに仲間入り。

えびはこの名物、ひげ長えび 1kg2,500 円、刺身に塩焼きに頭は味噌汁とえび尽くしの夕食でした。これまた、写真なしです！

ひげ長えび、正直な感想、旨味がいまいち、生食より塩焼きがいいかな！

天候がくずれ長引く逗留に、鹿児島や加世田にバスで行く者、KANAROAで読書とさまざまです。

この逗留の間、奄美から来たケッチを横にだいたり、硫黄島、屋久島へ同行する大村のヨットが浮棧仲間になったり、笠沙恵比寿は人気があるみたいです。

快適とはいえ 5 日間は長かった。天候もやっと回復、明日硫黄島へ前向け出航です。

笠沙恵比寿

係留	浮き桟橋	1日 2,000 円 海の冒険館
水	あり	
陸電	あり	1日 500 円
燃料	あり	
トイレ	あり	海の冒険館
風呂	あり	1日 660 円海の冒険館
飲料水	あり	農協ストア有 日曜休み
食料品	あり	農協ストア有 日曜休み
酒	あり	甌にしかない焼酎有
その他		レンタサイクル 2 時間 400 円 洗濯機有り

2013年5月20日(土曜日)

天候 晴天
風 西、西南西 1~6
波 1~2
目的地 笠沙恵比寿
距離 45.5NM

5時20分満潮時に笠沙恵比寿を出航。水深が浅いのでこの時間です。ブルーが入港時の航跡、赤が出航時の航跡です。

黄色の海域は定置網が多く安全第一のKANALOAは回避。



今日もまた風が無く機走。野間半島が後方に姿を消したころ、海の色が違います。暫くすると硫黄島か！

海上の一点に小さな雲の塊が、
その下に島影。近づくに従い頂に
雲をいただくその勇姿がくっきりと。

九州一周のメインが今そこに、ただ
入港するにはもったいなく、昭和硫
黄島へ変進、海上から硫黄島観覧、
「あれが坂本温泉かな」などと皆の
テンションも最高潮です。





海から望む坂本温泉

硫黄島入港

12 時いよいよ入港です。しかし、事前調査と違い、地図や写真には無かった、沖防波堤があります。少し不安が。

九州一周出航前に調べた限りでは、三島カップ用にヨット用の浮き棧橋があるとのことでした。しかし、港の地図、写真には載っておらず。まァ行けば分かるだろうとたかをくくっていましたが。

今もほとんどがこの地図
沖の防波堤は表記されていません

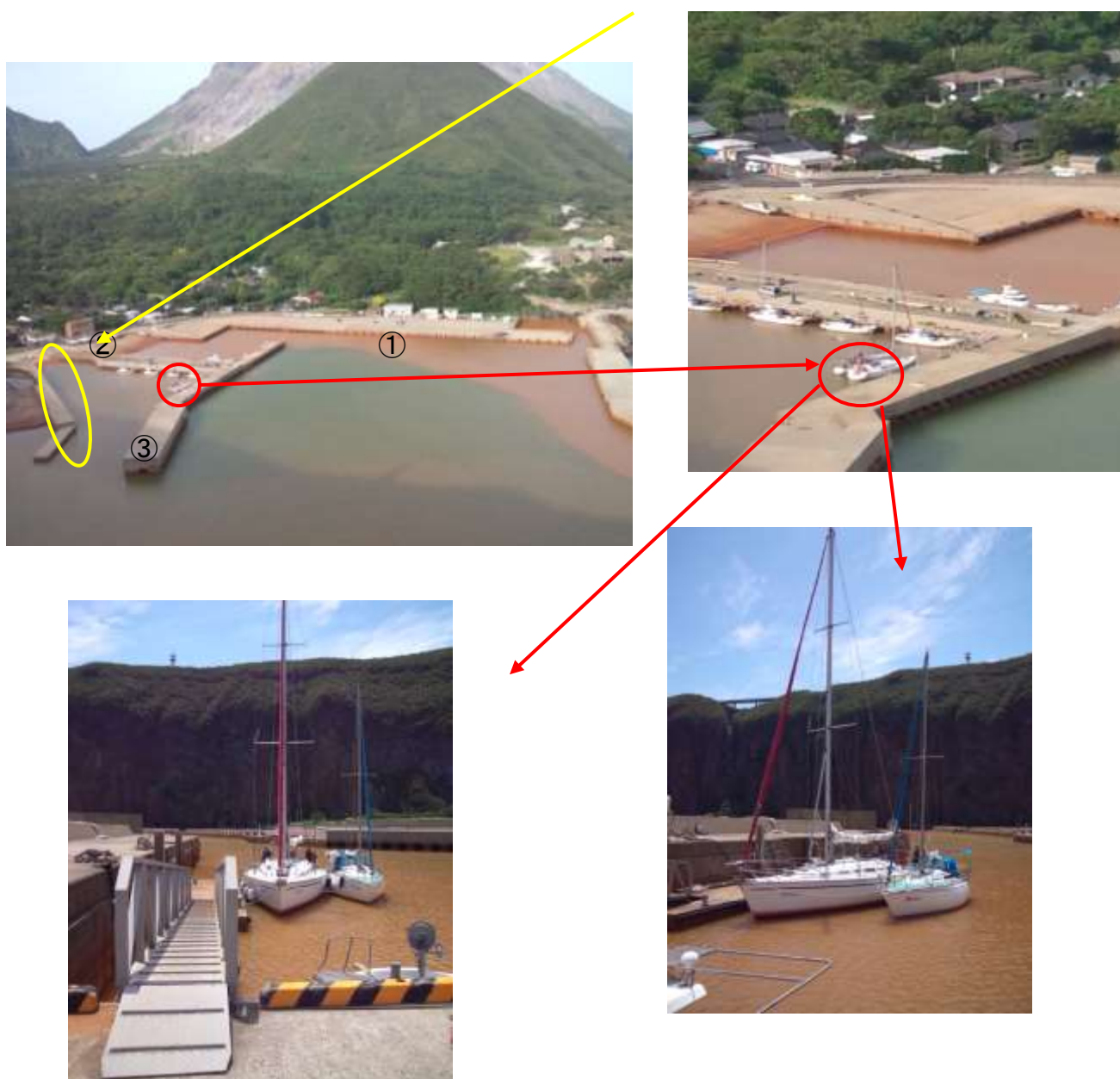
われわれが撮影した硫黄島



入港し湾内を見渡しても浮き棧は見えません、③の防波堤は陸地との距離がなく海側から見ると、とても入っていけそうになく、フェリー岸壁①に着岸、上陸して徒歩で見て回ることに。

それぞれの防波堤が高く、海上のヨットからは見えませんでした②地点まで徒歩で来ると浮き棧橋が確認できました。

③の岸壁を回り込み岸壁に沿いながら浮き棧へ、対岸は浅いので要注意！



写真のように浮き棧は小さくKANALOA1艇で一杯、遅れてきた大村のシェリーを横に抱き停泊です。三島カップのときは数十艇が停泊、賑うそうです。

島内は意外と広く徒歩での観光は無理。そこで1名が民泊して民宿の車をレンタル。
島内観光と温泉めぐりへ。



坂本温泉は写真より
汚く、入浴断念



残念なことに坂本温泉は入る人もないようで更衣室も悲惨な状態。



硫黄岳はすばらしい景観です。島沿いの海面はいたるところ温泉が噴出しているのか、いろいろな色をしています。

中尾温泉は素晴らしい！！



ただ、初日は一番上の湯壺から、下の湯壺に流れる湯量(温度)調節の栓(木の棒)が抜かれていて、熱くてゆっくりと楽しめませんでした。ここは港から海沿いの道2km程度、歩いていけるので次の日も挑戦、存分に温泉を堪能しました。温泉からの帰りは道の両端の竹ノ子林で大名竹を採りKANALOAへお土産。

この時期は大名竹を築地市場に卸す為、家族総出どころか島を出た家族も里帰りして竹の子取りです。島内放送で市場からの催促があるので出荷量を増やすようにとの放送が！！島一番の特産物みたいです。

防波堤からはカンパチや5キロのアラもつれるとか。餌はサビキで釣れるベイトの小アジです。大物狙いで挑戦したものの、ラインをぶちきられたのが2回、1メートル越えのダツとヤガラしか釣れませんでした。

もう一度ぜひ訪れたい島です。

22日8時 屋久島に向けて出航です

泊地情報

トイレ

お店

お風呂 公営温泉

中尾温泉への道

大物が釣れる岸壁



手前のお店で三島焼酎を

販売していましたが？ほんとに

三島で作っているのか疑問です？

硫黄島

係留	浮き桟橋	
水	なし	
陸電	なし	
燃料	なし	
トイレ	あり	公衆トイレあり 和式 24 時間
風呂	あり	公営温泉 風呂は火木土
飲料水	あり	
食料品	あり	ストア有 日曜休み 最低限のものしかない
酒	あり	
その他		

ごみ 全てだめ

レンタカー 半日 4,000 円 ガジュマル 6,000 円(1 泊 2 食付)

携帯 ドコモのみ通話可能